

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

2019年9月30日

三菱鉛筆株式会社

三菱鉛筆株式会社は、資産運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」)が発行する「ソーシャルボンド(社会貢献債)」(以下「JICA債」)への投資を実施いたしました。

JICAは、日本政府の定めた開発協力大綱に則ってODA(政府開発援助)政策を担う、世界最大の二国間援助実施機関です。JICA債への投資資金は有償資金協力事業に充当され、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際社会の健全な発展のために活用されることから、JICA債への投資は、サステナブルなESG投資としての性格・意義を有しています。

JICA債は、国際資本市場協会(ICMA)が定義を公表している「ソーシャルボンド」の特性に従う日本初の債券です。「ソーシャルボンド」とは、調達された資金が社会課題の解決に資する事業に充当される債券であり、JICA債への投資資金は、開発途上国の社会課題解決に向けた融資に活用されています。

加えて、2016年12月に日本政府が策定・公表した「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」において、JICA債の発行がSDGsを達成するための具体的施策のひとつとしても掲げられており、JICA債への投資はSDGsの達成に向けた取組にも繋がるものと考えております。

今後も、三菱鉛筆株式会社は、持続可能な社会の形成に向けた取組を推進してまいりたいと考えております。

<本債券の概要>

発行体：独立行政法人 国際協力機構 (R&I 格付け：AA+、S&P 格付け：A+)

発行日：2019年9月20日

年限：10年